

件名 牛岩神社のお引越し

2月14日(月)
愛宕地区社会福祉協議会

2月13日発行の『おはよう愛宕山』NO.651を拝読した中で、編集後記でもある「たむらじゅんげんのたちばなし」に、故郷に鎮座している神社の一つである牛野谷町の「牛岩神社」のお引越しの記事が掲載されていました。興味もあつたのですぐさま現地を訪ね、数枚撮影してみました。以下は、『おはよう愛宕山』に掲載の「牛岩神社のお引越し」の記事です。

2022年 2月13日 『おはよう愛宕山』 No.651



たむらじゅんげん
牛岩神社のお引越し

百合ヶ丘団地の入り口付近に牛岩神社という小さい祠があつた。牛の谷について書いた古い本に、牛岩という大岩があつて、この地が「牛の谷」の地名の由来らしいと書いてある。しかしその神社がいつ出来たかは判らない。▼その牛岩神社がこのたび引越した。個人所有しておられた神社で、このたび愛宕神社総代会に管理が託された。愛宕神社の敷地に引越しが決まり、1月末に引越し作業を終えた。2月1日の大祭から愛宕神社そばのこの地で今年の大祭がおこなわれた。▼引越しの作業をされた業者さんが、何十年分のお墓銭の写真を見せて呉れた。今は使われないうちにお札や、コインがどっさり出てきた。多くの方がこの神社に、おさしていたことが伺えた。牛岩神社もこれから、愛宕神社のそばで新しい歴史を刻んでゆくことになる。「牛の谷」という私たちの郷土を、ここから「ふるさと」として大切に守り続けたい。

⑦ 牛岩神社 (牛野谷)

交通手段が主に徒歩に限られていた時代、牛野谷から平田に行くには、西側の愛宕山系(沖山)を越えるのが便利でした。ルートの一つが本峠越えて(現市道-牛野谷町29号線)、細い谷間の奥の山中に、当岩はありました。その姿から地域の名前の由来になり、癒癒をはじめ諸病(近年は子供のおねしょ)に効験ありと、信心を築きました。ところが台風(昭和20年=1945と同25年)で諸岩が流失。少数の人々を知るだけになりましたが、同53年(1978)、地元の有志が境内を再興し、大祭(2月1日)、小祭(毎月1日と15日)の行事を欠かしませんでした。しかし現在、後継者不足により、境内の清掃のみ行っています。



右記は、平成24年発行の「ふるさと愛宕」編者：愛宕地区社会福祉協議会の中で、牛岩神社を紹介した記事です。